



フィラリアについて



フィラリア症は、蚊が血を吸う事によりワンちゃんからワンちゃんへと媒介し感染していく病気です。地域によっても異なりますが、家の外にいる犬で、予防をしない状況が続けると3年目で90%前後のワンちゃんが感染するというデータが出ております。また、室内外のワンちゃんもベランダなどで蚊に刺されて感染するケースも認められます。

フィラリアは、一度寄生すると血液の流れが妨げられ、様々な障害が発生し死に至る場合もあります。しかし、しっかり予防をすれば大丈夫な病気です。

「フィラリア症って猫ちゃんもかかるのですか？」 ⇒ 「はい。かかります。」

蚊はワンちゃんだけの血を吸うわけじゃありません。猫ちゃんの血も吸いますので猫ちゃんも感染する事があります。

最近まで意外と知られていなかったため、10頭に1頭が感染していたというデータも出ています。怖いデータですが、ワンちゃんと同様にしっかり予防が出来る病気です。

フィラリア検査の際には採血をしますので、フィラリア採血の際に一緒に**血液検査+健康診断**もやってしまうのがワンちゃん・猫ちゃんへの負担も軽くなっておすすめです。健康診断については、当院看護師・獣医師にお尋ねください。



ノミ・ダニ予防について

野外のマダニが媒介する**「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)」**感染症について、厚労省が注意喚起を呼び掛けています。

犬がSFTSウイルスを持ったマダニを生活環境に持ち込み、**人がマダニに咬まれてSFTSに感染する**可能性があるため、予防は必須です。散歩に行くワンちゃん、外出する猫ちゃんは、**一年を通じての予防をお勧めします**

原因となっているマダニは、全国的に分布しており、ここ岩国でも多くの犬猫に寄生して来院されます。決して珍しいダニではありません。

毎月スポット剤を滴下したり、予防薬を飲んだりして対処することで、SFTS感染の危険を低下させることは可能です。

詳しくは、当院の看護師・獣医師にご相談ください。



SFTSウイルスを保有したマダニの生息地域（2016年3月時点）

